



みんないっしょに成長—1年生集団宿泊教室の代替活動—



本来であれば9月に予定していた1年生の集団宿泊教室を、コロナ禍の影響で3月3日・4日に延期していました。しかし、その後の感染状況を配慮し、最終的に今年度の集

団宿泊教室については中止となってしまいました。

1年生にとっては、最も楽しみにしていた行事の一つが中止となり、がっかりした人も多かったと思います。

しかし、集団宿泊に行くことはできませんでしたが、4日(木)に校内でいろいろな活動に取り組み、集団として成長した姿を見ることができました。

自分事として捉えること—水俣病に関する人権学習—

本来の予定では、水俣市の水俣病資料館を訪問し、現地の語り部の方から実際に水俣病問題についてお話を伺う予定でしたが、今回は、同資料館からDVDをお借りして、長年水俣病の語り部として活動しておられる杉本肇さんのお話を視聴しました。

熊本県では小学5年生のと

きに水俣を訪問し学習することになっていますので、本校の1年生も2年前に訪問し、学習をしていると思います。

ただし、中学生となった今、改めてお話を伺い、水俣病について考えることで、小学生の時より深く学んだり、違う角度から考えたりすることができたと思います。

この学習で大切なのは、水俣病に関する人権問題を、自分の身近にある人権問題として捉えることができたかどうかです。

今回の学習を今後の生活に生かし、差別やいじめのない、明るく楽しいよりよい二中をつくっていつてくれることを期待しています。